

## 4 豊かな自然ときれいな中津川をつくります

### 41 循環型社会の構築

#### 411 省資源の推進

##### 41101 ごみの減量化とリサイクルの推進

###### [施策の取り組み方針]

- 買い物袋の持参など、ごみの排出を抑制するための啓発活動を強化します。
- 分別回収している「資源ごみ」の回収量を増大させ、ごみの減量化・資源の有効活用を推進します。
- 排出されるプラスチック類を回収し資源化するシステムを調査・研究します。

###### [施策の重点目標]

成果目標	H18 年度末現状値	H23 年度末目標値
環境センター一般廃棄物受入れ量	25,862 t	24,964 t
資源ごみ回収量	6,838 t	6,866 t
一般廃棄物排出量	32,700 t	31,830 t
ごみのリサイクル率	20.9%	21.6%

###### [主要事業]

事業コード・事業名 担当部課名	事業内容	区分
[ ソフト ] 資源回収事業 〔生活環境部 ごみ減量推進室〕	資源となる紙類、ビン類、缶類などを回収した団体に対して奨励金を交付し、集団資源回収活動を推進します。	継続
[ ソフト ] 廃プラスチック類リサイクル調査研究事業 〔生活環境部 ごみ減量推進室〕	ごみの減量化、資源化の一つの方法として、プラスチック類を回収し資源化するシステムを調査・研究します。	継続

##### 41102 ごみ処理施設の充実

###### [施策の取り組み方針]

- 旧焼却施設や最終処分場の閉鎖など、環境保全の観点及び安全性の確保から早期に解体撤去し環境整備をすすめます。
- 環境センターの安全・安定・安価な稼働をさらにすすめます。
- 下水道汚泥の受け入れ、スラグの有効活用に必要な施設の整備をすすめます。
- 容器包装リサイクル法の趣旨に沿った分別収集、再資源化を推進します。

[施策の重点目標]

成果目標	H18 年度末現状値	H23 年度末目標値
排ガス時間値超過率	一酸化炭素 (CO) 1.9% 窒素酸化物 (NOx) 1.0%	一酸化炭素 (CO) 1.0%以下 窒素酸化物 (NOx) 1.0%以下
ごみ焼却量	24,800 t	23,500 t

[主要事業]

事業コード・事業名 担当部課名	事業内容	区分
[ ハード ] 汚水処理施設共同整備事業(MICS) 〔水道部 下水道課〕 〔生活環境部 衛生センター〕 〔生活環境部 環境センター〕	効率的な汚泥処理を行うため、新衛生センター建設に併せ下水道汚泥と、し尿汚泥を一元化処理できる施設を建設し、汚泥の総合的な処理を行います。	新規
[ ハード ] 旧恵北清掃センター解体事業 〔生活環境部 環境センター〕	旧恵北清掃センターの焼却施設を環境保全及び安全性の確保から早期に解体撤去し、地元との協定に基づき借地を返還します。	継続
[ ハード ] 旧中津川清掃センター解体及びリサイクル施設整備事業 〔生活環境部 環境センター〕	旧中津川清掃センターの焼却施設を環境保全及び安全性の確保から早期に解体撤去します。 跡地の有効利用として、環境経済循環型社会の構築を図るため施設整備を推進します。	継続

412 省エネルギーの推進

41202 新エネルギーの活用

[施策の取り組み方針]

- 公共施設への太陽光発電設備などを積極的に導入し、全市的な新エネルギーの活用推進に努めます。
- 太陽光、水力、風力などの活用について調査研究をすすめます。

[施策の重点目標]

成果目標	H18 年度末現状値	H23 年度末目標値
公共施設への新エネルギー導入数(延べ)	8 施設	10 施設

[主要事業]

事業コード・事業名 担当部課名	事業内容	区分
[ ソフト ] 新エネルギー活用推進事業 〔生活環境部 環境課〕	省エネルギーを含め、エネルギーに係る情報収集に努め、エネルギー政策の調査、分析を実施します。	継続

## 42 豊かな自然の保全と活用

### 421 自然環境の保全

#### 42101 下水道整備等水質の保全

##### [施策の取り組み方針]

- 下水道などの未整備地区においては各家庭の生活排水が、排水路などに排出され河川等の水質汚濁の原因となっています。木曾川上流に至る市として環境への負荷を軽減するよう計画区域内の早期管渠整備と水質の向上を図ります。
- 特定環境保全公共下水道苗木処理区の整備を推進するとともに、処理場施設の増設により水洗化を促進します。
- 既存施設の有効利用を図りながら、新衛生センターの整備を推進します。
- 各処理施設から発生する汚泥は、別々の処理形態で処理・処分されているが、資源化・エネルギー利用などの観点から市民にとって最良で適切かつ効率的な処理を実現して行きます。

##### [施策の重点目標]

成果目標	H18 年度末現状値	H23 年度末目標値
汚水処理人口普及率 (下水道等整備済人口/行政人口)	85.3%	94.8%

##### [主要事業]

事業コード・事業名 担当部課名	事業内容	区分
[ ハード ] 新衛生センター建設事業 〔生活環境部 衛生センター〕	環境への負荷が少ない「循環型社会」の形成を推進するため、水質の負荷の軽減及び資源の有効利用ができる施設の建設を行います。 平成 23 年度供用開始(予定)	新規
[ ハード ] 汚水処理施設共同整備事業(MICS) (再掲) 〔水道部下水道課〕 〔生活環境部 衛生センター〕 〔生活環境部 環境センター〕	効率的な汚泥処理を行うため、新衛生センター建設に併せ下水道汚泥と、し尿汚泥を一元化処理できる施設を建設し、汚泥の総合的な処理を行います。	新規
[ ハード ] 下水道地震対策緊急整備事業 〔水道部 下水道課〕	避難所及び重要路線部の下水道施設の耐震化などを、短期、中期、長期に区分して行い、災害時における生活環境の保全及び安全性を確保します。 ・避難所の仮設トイレ用マンホール ・避難所と処理場間の管渠耐震化 ・重要路線下の管渠耐震化	新規
[ ハード ] 公共下水道事業(坂本処理区) 〔水道部 下水道課〕	公共水域の水質改善を図るため、公共下水道が未整備の坂本地区について計画的に整備をすすめ、22 年度末の一部供用開始を目指します。 ・計画処理区域面積:280ha ・計画処理人口:10,500 人	継続

[ ハード ] 公共下水道事業(中津川処理区) 〔水道部 下水道課〕	計画処理区域 1,210haの整備完了を目指し、事業をすすめます。	継続
[ ハード ] 特定環境保全公共下水道事業(苗木処理区) 〔水道部 下水道課〕	計画処理区域 150haの整備完了を目指し、事業をすすめます。	継続
[ ハード ] 農業集落排水資源循環統合補助事業(阿木地区) 〔水道部 下水道課〕	事業促進により、平成 20 年度の完了を目指します。 事業内容:コンポスト施設建設・管布設 ・全体処理人口:1,920 人 ・管路延長:24.4km ・計画日平均汚水量:519 m <sup>3</sup> /日	継続

## 42102 河川環境の保全

### 〔施策の取り組み方針〕

- 計画段階から市民の参画を得ながら、自然環境と調和のとれた自然共生型の河川整備をすすめます。
- 地域ぐるみの河川浄化など、市民参加による河川環境の保全を促進します。

### 〔施策の重点目標〕

成果目標	H18 年度末現状値	H23 年度末目標値
市民との協働による河川環境の整備(延べ)	1 地区	2 地区

### 〔主要事業〕

事業コード・事業名 担当部課名	事業内容	区分
[ ハード ] 坂本川河川改修に伴うJRアンダーパス 関連整備事業 〔基盤整備部建設課〕	JR により二分された当該地域の地域間交流を促進するため、河川右岸道路を線路下に通すための右岸ボックスを設置します。また、右岸取付擁壁の工事を行います。	継続
[ ソフト ] 市民との協働による河川環境整備事業 〔基盤整備部 建設課〕	市民の皆さんが、地域の河川に親しみを持っていただけるよう、地域ぐるみによる河川浄化など、市民参加による河川環境の整備を促進します。	継続

## 43 きれいな中津川づくり

### 431 景観の保全と環境美化

#### 43100 景観の保全と環境美化

##### [施策の取り組み方針]

- 長い歴史のなかで育まれた自然、歴史、文化などの景観の保全を図るため、景観基本計画に基づき、市民、事業者、行政の協同により、調和のとれた地区景観の保全に努めます。
- 各地域の歴史景観や自然景観などを保全し、地域資源として観光など、地域の活性化への活用に努めます。
- ごみのポイ捨てや不法投棄の防止、市民一人ひとりの美化意識の高揚に努め、クリーンなまちづくりをすすめます。

##### [施策の重点目標]

成果目標	H18 年度末現状値	H23 年度末目標値
景観条例に基づく規制に対する届出件数 (延べ)	0 件	30 件

##### [主要事業]

事業コード・事業名 担当部課名	事業内容	区分
[ ソフト ] 景観形成推進事業 〔基盤整備部 都市整備課〕	景観計画、景観条例の運用とともに、景観計画重点地区内の公共空間の整備と、住民の景観形成活動への支援を行います。	新規
[ ソフト ] 廃棄物不適正処理監視事業 〔生活環境部 ごみ減量推進室〕	地域住民と協力しながら廃棄物の不法投棄やポイ捨てなどの不適正処理を減らし、市内の環境美化を推進します。	継続